

基礎仕様計画書

2008年03月05日

ビルダー登録 No	A0300921
地盤登録 No	F0809681
ビルダー様名	いいひ住まいの設計舎
現場名	□□□□ 邸



日本住宅保証検査機構



調査日	2008年03月03日
調査方法	スウェーデン式サウンディング試験
設定方法	調査・解析
地盤の種類	粘性土、砂質土
許容支持力	20KN/m ² 未満

地盤調査 Y Mグループ
 FAX 03-5638-2584
 TEL 03-3635-8691

基礎仕様の判定			仕様	
直接基礎	布基礎		基礎形状は建設省告示第1347号の規定以上としてください。	
	べた基礎			
	その他			
地盤改良工事	表層改良		○	
	湿式柱状改良	○		コラム600Φ、支持層現状GL-3.25m~-4.0m以深、配置間隔2.0m以内とし、最低20本以上を満たすこと。※1
	小口径鋼管杭			
	既製コンクリート杭			
	その他改良工法	○		報告書表紙裏に記載の改良工法のご検討も可能となります。

※地盤改良工事の場合、工事後の基礎形状は布基礎、べた基礎どちらでも対応可能となります。

※地盤改良後の布基礎の幅は鋼管杭で360mm以上、その他で450mm以上としてください。

※1 構造計算により、基礎の安全性が確認出来た場合は@2.0以上でも可能となります。

考察

建物荷重の応力範囲内において安全値を割った緩い層が分布しており、予定建築物の載荷重により不同沈下の可能性が高い地盤であると推察されます。上記地盤改良工事を行い、建物の長期的な安定を確保することが適当であると考察致します。

地盤改良工事時の杭本数算定条件	床面積	67.28m ²	重量	20.00KN/m ²
-----------------	-----	---------------------	----	------------------------

注意事項

※ 地盤改良工事を行う場合は、JIOの現場検査が必要になりますので、ご注意ください。

※ 改良体が擁壁底盤上に載る設計の場合は、設計審査で改良長が変更になる場合があります。

※ 上記基礎仕様の判定を満たした上で、工法の決定はビルダー様が行って下さい。

※ 判定に関する問い合わせは、JIO地盤解析課 TEL: 03-3635-8691、FAX: 03-5638-2584までお願いします。